

平成 26 年度「提案公募型事業」申請書類(2)
< 受 託 申 請 書 >

ふりがな 団体名	あいていーによるちいき・さんぎょうしんこうけんきゅうかい ITによる地域・産業振興研究会						
ふりがな 代表者名	よこい しげき 横井 茂樹						
募集期間 (該当を○で囲む)	第1期 / ○ 第2期						
事業の分野・テーマ (該当に●印・複数可)	【○】心地よく安心な港まちで暮らす						公募要領の 「2委託対象 事業」を参照
	● 【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う						
	● 【□】みんなと港まちを創る						
提案事業名	IT を活用「港まち PR 隊」						
希望金額=A ※5ページ・6ページの Aと同額を記入	6	8	6	0	0	1	円
期間 (準備～事業終了日)	平成 26 年 契約の日 ~ 平成 27 年 2 月 20 日						

【提案事業の計画】 ※ 簡潔かつ具体的に記入してください。

(1) 事業の目的・見込まれる成果

上記で選択した事業の分野・テーマ(○・△・□)について、具体的にどのような目的を持ち、どのような成果を見込む事業であるか、詳細に記入。

港まちづくりのために、小さなイベントから始め、その後も事業を継続することによって、一過性でない大きなイベントへ発展させることを目的とする。

- 海外の港まちやおしゃれなまちに興味のある学生が、名古屋の港まちを歩き、魅力を感じたところをソーシャルネットワークで、世界に向けて情報発信する。また、地元との人たちとの交流を通して、名古屋の港まちを身近に感じる機会とする。
- 「ITで、今、港まちが面白い」ということを世間に広く認識させるために、ソーシャル・ネットワーク・サービスを通じて、港まちのおすすめスポットを発信し、若者が港まちを訪れたいくなるような施策を少しずつ推進する。

(2) 事業の概要

■ 港まち歩きと交流会

海外の港まちと比較できる留学生や、おしゃれなまちに関心のある大学生が港まちを歩き、名古屋の港まちの印象を写真とコメントで記録してまとめた情報発信サイトを作成する。

まち歩きをした学生と地元の人々と意見交換する交流の場を設ける。この場では、学生にさらに港の街の魅力を高めるためのアイデアを話してもらい、港地域が若者や海外の人に、より関心を持ってもらう方策について議論する。

■ フォーラム開催

関東地区のまち作りと最新技術(IT)との関わりを知り、イベントや港まちづくりに活用できる最新技術(IT)の可能性について、地元の人を交えて議論してもらう。また、先進的起業家の視点での将来性のある街づくりについて語ってもらう。

(3) 事業の具体的な内容と方法〔内容、実施日・実施場所、想定参加者等〕

1. 内容

- 港まち歩きに基づきソーシャルネットワークによる情報発信サイトを構築
留学生を含む大学生 10名/回×3回 約2時間半 計30名
街歩きを通じて参加者が興味を持ったポイントを写真投稿し、情報発信サイトを構築する。
- まち歩き反省会(まち歩きの結果報告と情報交換)
まち歩きの学生一部(10名)と商店街など地元の人たち 若干名(10名)
- フォーラム
 - ① 基調講演
関東地区ベンチャー企業経営者 1名
 - ② パネルディスカッション
関東地区ベンチャー企業経営者 1名
名古屋大学教員または学生 1名
金城学院大学教員または学生 1名
地元商店街など 2名
 - ③ 座談会

2. 実施日・実施場所(屋外で実施する場合は、雨天時の対応も記入してください。)

- 港まち歩き
平成26年10月～11月の間で、築地地区内で実施(雨天の場合は順延)
- まち歩き反省会
平成26年10月～11月の間で、地元の会議室で実施
- フォーラム
平成26年10月～11月の間で、地元の会議室で実施

3. 想定参加者人数・参加者層

- 港まち歩き
金城学院大学および名古屋大学の留学生を含む学生
10名/回×3回=30名
両大学の教員などによるリーダー 1名/回×3回=3名
- まち歩き反省会
まち歩きをした大学生と指導教員 約10名
地元商店街など 約10名
司会者 1名
- フォーラム
基調講演者(関東地区ベンチャー企業経営者) 1名
大学教員または大学生 2名
まちの人(地元商店街・住民など地元の人) 2名
司会者(総合司会・パネルディスカッション司会) 2名
聴衆 約50名

(4) 広報手段

■ 港まち歩き
 学生の募集は、大学の研究室内(ゼミ)で実施

■ フォーラム
 開催広告及びシンポジウムに参加する地元の人々の募集は、チラシやポスターを作成して地域に周知するとともに募集を行う。なお、ポスターの掲示場所及びチラシの配布は、築地地区内の商店などに協力依頼して店頭に掲示または置かせてもらうことなどを考えている。

(5) 事業のスケジュール(準備～実施～実施後の実施運営スケジュール)

平成 26 年 9 月～10 月中旬 準備
 平成 26 年 10 月上旬～中旬 学生募集・事前レクチャー・フォーラム参加者募集・ポスター掲示
 平成 26 年 10 月中旬～11 月 まち歩き・まち歩き反省会・フォーラムの実施
 平成 26 年 12 月～1 月 データ整理・報告書作成
 平成 27 年1月～2月 20 日 報告書提出

<事業スケジュール一覧表>

項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月
準備				
学生募集					
まち歩き				
反省会				
参加者募集					
フォーラム				
データ整理				
報告書				○

(6) 事業の運営体制(スタッフの役割・人数や委託外注の活用等による運営体制、地域との連携など)

プロジェクトリーダー 1名(横井)

まち歩き管理とサイト作成管理 1名(兼松)
 まち歩きリーダー 延3名(大学教員・他)
 まち歩き班長 延3名(大学生)
 反省会司会者 1名(横井)

フォーラム管理 1名(栗田)
 フォーラム司会者 2名(横井・栗田)

データ整理・解析 1名(横井・兼松・委託)
 報告書作成 3名(横井・兼松・栗田・委託)

【事業のアピール】

次の各項目は審査基準と同じで、審査の判断材料となります。事業のアピールポイントを具体的に箇条書きで記入して下さい。(公募要領の12の審査基準の欄を参照してご記入ください。)

(1) 実現可能性

■港まち歩き

金城学院大学および名古屋大学のゼミを持つ教員が、港まちに興味のあるゼミの大学生を動員することから、海外の港まちを知る留学生やおしゃれなまちに関心のある大学生を集めることができ、港や海辺の魅力再発見と情報発信が可能である。

■フォーラム

大学教員の専門分野から、関東の有名なベンチャー企業者をフォーラムに招き、最新技術(IT)が関東周辺の商店街やまちづくりにどのように活かされているのかを聞くことが可能である。

(2) 積算の妥当性

フォーラムに招く講師は、大学教員とのつながりから謝金を低く抑えられている。
会議室の借り上げ費は、地域内にある会議室で、かつ低廉な会議室を想定して積算している。

(3) 公益性・社会貢献性

大学教員による指導と大学生を動員することで、海外との比較など幅広く、客観的な結果を得ることが期待できる。

若者や先進的なIT起業家による見方・発想が提示されることによって、少しずつ港まちが若い世代にも親しまれるように創られてゆけば、商店街や港まちの活性化という大きな社会貢献ができる。

(4) テーマとの整合性

若者がまちを歩くということ事体が、【△】魅力的でにぎやかな港まちに集う、にかなっている。

また、交流会やフォーラムに地元商店街の人たちに参加してもらうことで、ゼミの学生との相互理解が深まり、【□】みんなと港まちを創る、ということに通じる。

(5) 将来性

「港まち歩き」の趣向を変えたり、若者を大学生から一般の若者へと広げたりすれば、繰り広げられるステップ毎に、さらに広い層の若者による見方や発想が得られ、若い世代に親しまれる港まちへと発展しながら創られてゆく。

また、ベンチャー起業家と地元との交流が重なれば、将来、企業の支店・営業所が地元に進出するという企業活動へと発展する可能性を持っている。

(1) 支出の部

項目		金額(円)							
①	外部講師謝金		9	4	0	0	0	円	
②	旅費交通費		6	2	6	0	0	円	
③	会議費		1	2	7	4	0	円	
④	物品購入費		2	5	0	0	0	円	
⑤	借上料		2	0	4	0	0	円	
⑥	保険料			7	4	9	1	円	
⑦	人件費	1	8	0	9	0	0	円	
⑧	委託外注費	1	5	0	0	0	0	円	
⑨	通信費						0	円	
⑩	印刷製本費	1	2	0	0	0	0	円	
⑪	事務費等		1	2	8	7	0	円	
総支出合計=A (港まちづくり協議会からの委託契約金額合計) (1ページのAと同額かご確認ください)			6	8	6	0	0	1	円

※ 参加費を徴収する事業の方は、参加費で充当される予定の品目は入れないでください。

※ 参加費で充当される予定の品目は、(様式1)の【徴収される参加費に相当する事業費】に計上してください。

(2) 対象経費明細 ※対象経費明細のエクセル形式(様式2)の使用も可能です。

項目	経費の内訳
①外部講師謝金	フォーラム講師謝金 74,000円(交通費込)×1名 パネリスト謝金@10,000円×2名=20,000円
9 4 0 0 0 0 円	
②交通費	・連絡、折衝等(東京近郊～名古屋往復)@24,000円×1名=24,000円 ・打合せ 市内連絡交通費@230円×10回 =2,300円 ・大学生・教員交通費(大学～築地口往復)金城学院@1,360円×22名=29,920円 ・同・名大@580円×11名=6,380円
6 2 6 0 0 0 円	
③会議費	・まち歩き反省会@490円×26名=12,740円
1 2 7 4 0 0 円	
④物 品購入費	・フォーラム座談会@500円×50人=25,000円
2 5 0 0 0 0 円	
⑤借上料	・会議室(20名収容)5,100円(まち歩き反省会) ・会議室(50名収容・午後)6,600円(フォーラム用) ・会議室(同・夜間)8,700円(座談会用)
2 0 4 0 0 0 円	
⑥保険料	まち歩き用保険@227円×33名(学生30名+リーダー3名)=7,491円
7 4 9 1 円	
⑦人件費	・まち歩きレク@1,000円×2.5H×1名×3回=7,500円 ・まち歩き補助@1,000円×2.5H×1名×3回=7,500円 ・まち歩きリーダー@1,000円×2.5H×3名=7,500円 ・カメラマン@800円×2.5H×9名=18,000円 ・アシスタント(撮影補助)@800円×2.5H×3名=6,000円 ・写真データ整理作業@800×2H×4名=6,400 ・ソーシャルサイト作成、編集補助@900円×10H×3名=27,000円 ・報告書原稿整理作業、パソコン入力等1式@900×15H×6名=81,000円 ・パネリスト謝金@10,000円×2名=20,000円
1 8 0 9 0 0 0 円	
⑧委託外注費	・ゼミ委託費 100,000円(金城学院大学) ・同・50,000円(名古屋大学)
1 5 0 0 0 0 0 円	
⑨通信費	
0 円	
⑩印刷製本費	・ポスター、ちらし1式(70,000円) ・報告書@1,000円×50部=50,000円
1 2 0 0 0 0 0 円	
⑪事務費等	・プリンターインク@3,900円×3=11,700円 ・用紙@390円×3=1,170円
1 2 8 7 0 円	
総支出合計=A	1ページ・5ページのAと同額かご確認ください
6 8 6 0 0 0 1 円	